

2026年度人文科学研究所研究費採択課題一覧

| 研究課題名 | 研究所 | 研究種別 | 学部 | 資格 | 氏名 | 研究期間 |
|--|---------|------|---------------|-------|--------|-----------|
| デカダンティズムからマルセル・ブルーストへの影響についての文献学的研究 | 人文科学研究所 | 個人研究 | 商学部 | 専任准教授 | 浅間 哲平 | 2025-2026 |
| 金融心理のメカニズムに関する国際比較調査 | 人文科学研究所 | 個人研究 | 商学部 | 専任教授 | 佐々木 美加 | 2025-2026 |
| ホルヘ・ルイス・ボルヘスの作品における語り直しの詩学 | 人文科学研究所 | 個人研究 | 政治経済学部 | 専任准教授 | 内田 兆史 | 2025-2026 |
| 照葉樹林・ナラ林・鎮守の森：日本の自然観の研究 | 人文科学研究所 | 個人研究 | 政治経済学部 | 専任教授 | 柴崎 文一 | 2025-2026 |
| 体育・スポーツ・健康科学研究者による“性別”と“性差”の認識に関する質的研究：ジェンダー・イノベーション導入に向けての課題の検討 | 人文科学研究所 | 個人研究 | 政治経済学部 | 専任教授 | 高峰 修 | 2025-2026 |
| ポストヒューマンズムの視点からの文学・芸術の使命 | 人文科学研究所 | 個人研究 | 政治経済学部 | 専任教授 | 虎岩 直子 | 2025-2026 |
| 縄文時代土偶の用途解明に関する新視点の提示と実証 | 人文科学研究所 | 個人研究 | 文学部 | 専任教授 | 阿部 芳郎 | 2025-2026 |
| カール・フロレンツ『日本文学史』（1906年）における作品選択の傾向とドイツ語訳の分析 | 人文科学研究所 | 個人研究 | 農学部 | 専任准教授 | 辻 朋季 | 2025-2026 |
| Geoffrey Chaucer作品における表現形態獲得の過程解明 | 人文科学研究所 | 個人研究 | 農学部 | 専任教授 | 狩野 晃一 | 2025-2026 |
| 1950年代のアジアで展開されたアフリカの脱植民地化運動と日本の関与 | 人文科学研究所 | 個人研究 | 国際日本学部 | 専任教授 | 満辺 泰雄 | 2025-2026 |
| 「批判理論」を読み替える | 人文科学研究所 | 個人研究 | 情報コミュニケーション学部 | 専任教授 | 宮本 真也 | 2025-2026 |
| 上海天主教文化のアジア伝播 | 人文科学研究所 | 共同研究 | 文学部 | 専任教授 | 郭 南燕 | 2026-2027 |
| 現代米国における教職離れを防ぐ教員養成・若手教員支援の制度と実践に関する研究 | 人文科学研究所 | 個人研究 | 文学部 | 専任講師 | 太田 知美 | 2026-2027 |
| 「アルジェリア自由主義」と現代フランスにおける受容：アルベール・カミュを起点として | 人文科学研究所 | 個人研究 | 文学部 | 専任講師 | 渡辺 惟央 | 2026-2027 |
| フィレンツェの市民的オペラ opera civile：アッカデーミア劇場の力学と展開（他都市比較を含む） | 人文科学研究所 | 個人研究 | 経営学部 | 専任教授 | 辻 昌宏 | 2026-2027 |
| 「明治初期、地方割拠を模索した士族たちの意識 - 旧庄内藩の明治維新 -」 | 人文科学研究所 | 個人研究 | 情報コミュニケーション学部 | 専任教授 | 須田 努 | 2026-2027 |
| 組織社会学における残された「余白」の理論社会学的研究 - 身体・感情・空間・雰囲気解明に向けて | 人文科学研究所 | 個人研究 | 情報コミュニケーション学部 | 専任教授 | 竹中 克久 | 2026-2027 |
| 満州事変以降の1924年移民法「俳日条項」修正運動の再検討 | 人文科学研究所 | 特別研究 | 政治経済学部 | 専任教授 | 廣部 泉 | 2026 |
| 『内職するカナガワ - 家内労働の地誌学 -』の完成に向けた調査研究 | 人文科学研究所 | 特別研究 | 経営学部 | 専任教授 | 中澤 高志 | 2026 |
| 価値の通約不可能性において意欲的要素が果たす役割の解明 | 人文科学研究所 | 特別研究 | 法学部 | 専任教授 | 越門 勝彦 | 2026 |